

和水町屈指の美仏 永泉寺の木造薬師如来坐像（熊本県指定重要文化財）

☎ 社会教育課 文化係
☎0968・34・3047



ヒノキ材 一本造 像高 88.2cm
鎌倉時代前期 13 世紀
和水町・永泉寺蔵

『国郡一統志』によれば、永泉寺は 1355（文和 4）年大智を開山として建立された曹洞宗寺院と伝えられます。本像は薬師堂として残る堂宇に安置されている仏像で、地元住民によって大切に守り伝えられた優美な仏像です。

頭体幹部をヒノキの一材から彫出する一本造で、内割は施していません。脚部や両肩先等は別材を刳ぎ付けています。脚部の底を少し刳った上で、節を抜いたとみられる穴が開き、体部正面や像底は朽損が進んでいます。

肉付き豊かな頭部に細い墨線で眉、瞳、口髭、顎鬚をあらわすのが目を引きます。体部は肩幅広く量感ある肉付きで、安定感のある脚部に刻まれた脚部の衣文は太く立体感があります。こうした点から本像の制作時期は鎌倉時代にかかると考えられています。

後頭部の螺旋に途中で彫出を止めたかのような表現がなされ、西光寺像と同様に本像も霊木化現象としての意識が認められます。彫刻に不向きな節のある材を脚部に用いる点や、彩色や漆箔をほとんど施さない素地仕上げだったと考えられることからみて、霊木として崇敬を受けていた木材を用いたのでしょうか。

（熊本県立美術館 2019『菊池川二千年の歴史 菊池一族の戦いと信仰』展示図録より）

旬のものを簡単アレンジ 「キャベツときのこのごま風味ソテー」

☎ 健康福祉課 保健予防係
☎ 0968・86・5724



- 【材料（4人分量）】
- しいたけ……………60g
 - えのきだけ……………60g
 - キャベツ……………160g
 - 玉ねぎ……………60g
 - ごま油……………16g
 - 白ごま……………4g
 - 貝割れ大根……………12g
 - 塩……………1.2g
 - 薄口しょうゆ……大さじ1/2
 - 黒こしょう……………少々
- 【作り方】
- しいたけ、えのきだけは石づきを取り、キャベツ、玉ねぎと共に食べやすい大きさに切る。
 - フライパンにごま油をひき、玉ねぎ、キャベツ、きのこ類の順に炒め、火が通ったら A を加える。
 - 全体に味がなじんだら火を止め、白ごまを混ぜ合わせる。
 - 皿に盛り、貝割れ大根を添える。

ひとくちメモ&栄養コメント

健康な成人で必要とされるきのこ類の量は、1日50gです。市販で販売されている1袋の約1/2量が目安になります。

文芸広場

菊水短歌会
詩歌とふ抒情の闇を照らすとして
月の一輪天の花咲かす 東 左千子
野や山の樹々の葉ひとつ動きなく
強き風くる前ぶれなるか 池田たかお
夏休みも盆も帰れず泣いた子ら
スマホに笑顔なに訴える 坂口志げ子
何度書いてもポストに行けぬこの手紙
風よ届けて亡夫への文 石山 幸子
やっと聞けたつくつくの声元気だね
稲田の穂波ふくらみ初めぬ 阪野 章子
煌けるあけの明星拝みて
今日のはじまり私の五千歩 荒木 智子
いなか道頭をたれる稲穂たち
生きる力で実をふくらます 坂本 竹子
かなしき原俳句会
秋晴れや碑 迎るしばしの歩 康子
優勝に涙の力士九月場所 弘子
大振りの無花果ひとつ頬張りぬ 誠一
転びたる子供のこゑに落つ木の実 貞子
天高し郷土力士の金字塔 明
宅配の里より届く豊の秋 しん子
棟上げの掛矢の音や秋高し 淑乃

菊水俳句会
十五夜の明けたる朝の晴れ渡り
大阿蘇へ稲穂の波の途切れなし 宮中 康雄
見えぬ目で夜空を見上げ月祈る 永田 紘彦
秋の寺亡夫七回忌一人座す 原 香代子
彼岸花ときをちがえず現れし 池田 松子
肥後狂句
岩手県 二波のコロナが越えた壁 石原かわせみ
岩手県 コロナ対策日本一 井上りんどう
三密です 逃げ口上にもって来い 高木せいや
三密です 守って通す我が命 福永 ユリ
肝太さ 条件なしで飲み喰アセ 庄山 道草
肝太さ 並みのお樽じゃ無アお樽 池田 茜
肝太さ 銭の回りの良かつじゃろ 瀬上 歌子
肝太さ 優勝杯で県民へ 二瀬 桔梗

和水町公民館図書室だより

☎ 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

前垣芳郎さん（前原区）から、町公民館図書室に、大型絵本や紙芝居など（22冊）をいただきました。図書の充実、子どもたちの読書意欲向上のために活用します。お子さんへの読み聞かせなど、皆さんどうぞご利用ください。

